



『当たり前のことには感謝する気持ち』

6月23日(月)いわき市地域防災交流センター久之浜・大久ふれ合い館を見学し、震災の語り部さんから、当時の状況や復興に向けた取組についてお話を聞きました。震災を知らない子どもたちは、津波の被害に遭った実際の港や街並みを見学することにより、当時の津波の被害の大きさや、尊い命を失った悲しい出来事を実感しました。このことを通して、現在の生活の「当たり前」のことに囲まれて過ごしていることの有り難みや幸せを実感したことと思います。毎朝起きると家族がいて、学校にいくと友達がいて「おはようございます」と言えること。学校で友だちと勉強できること。先生やお友達と話ができること。楽しく会話し、笑い合えること。給食を食べ、掃除をし、学びを重ねていくこと…。そうした何気ない日常生活が、実はとてもありがたいことなのだと、私自身も、この見学を通して、あらためて感じています。



今年度も多くの保護者の皆様に学校運営へのご理解とご協力をいただいております。6月は、体験学習が多い月でした。保護者様のご理解とご協力により、実施できましたこと、感謝申し上げます。また、急なお願いにも対応していただきありがとうございました。6月26日(木)は、下校時刻と雷雨が重なり、急きょ下校へのお迎えをお願いした際も保護者様のご協力のおかげで、安全に下校させることができましたこと、感謝申し上げます。毎日の登下校の見守りやPTA行事への参加、家庭での声かけなど、皆様の支えがあるからこそ、子どもたちは安心して学ぶことができます。「当たり前」の学校生活の裏には、見えない努力と支えがあるのだとしみじみ感じます。

小泉っ子に大切にしてほしい5つの言葉



1. 「ありがとう」
身近な人への感謝の気持ちを、ことばで伝えることはとても大切です。「ありがとう」は、言う人も言われる人も、心があたたかくなります。
2. 「ごめんなさい」
間違えたとき、失敗したとき、素直に「ごめんなさい」と言えることは、大人になっても必要な力です。正直な気持ちは、まわりの人との信頼を深めます。
3. 「がんばる」
すぐにできなくても、「がんばってみよう」と思う気持ちが成長につながります。努力することの大切さを忘れないでほしいです。
4. 「たすけあう」
一人ではむずかしいことも、友だちと力を合わせれば乗り越えられます。相手を思いやる心をもって、助け合える人になってほしいです。
5. 「だいじょうぶ」
失敗しても、うまくいなくても「だいじょうぶ」と言える心の強さと、友だちにも「だいじょうぶだよ」と寄り添えるやさしさを持っていてほしいです。

6月も本日で終わり、1学期も残りわずかとなりました。これからも、子どもたちの成長をともに喜び合いながら、感謝の気持ちを大切に学校づくりを進めてまいります。引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。 小泉小学校長 左雨 貴子(さっさ たかこ)

小泉五リンピック「スポーツテスト」

6月5日(木)に、小泉五リンピック「スポーツテスト」を行いました。全校で実施したのは、50m走、立ち幅跳び、反復横跳び、長座体前屈、上体起こし、ソフトボール投げでした。縦割り班で、各ブースに移動し、計測しました。縦割り班で協力してできました。その後、各学年で20mシャトルランと握力を計測しました。

この結果は、今後の体育指導に役立てるとともに、子どもたちに自己の体力を知らせ、健康や体力への関心、理解、次への目標をもたせたいと思います。



自分の目標達成に向けて

体験活動・校外学習を通して

6月は、校外での体験学習がありました。

6月 3日(火) 3・4年生「自然体験学習」

6月27日(金) 2・3年生「町探検・社会科」
(村上農園・遠藤好則様宅)

学校の授業だけでは、学ぶことのできない学習を校外で体験したり、活動を通して学んできたりしました。体験活動は、子どもたちの知的好奇心を広げたり深めたりして、主体的に学習するきっかけとなります。また、児童同士、地域の方々をはじめ多くの他者と共働することも学ぶことができます。体験後に、自分の言葉でまとめたり、レポートを作成したりすることで、思考力や表現力、判断力、情報活用能力が身に付きます。



明健中学校区「小小連携3校英語交流学習会」

6月18日(水)に、小泉小、明健小、行健二小の6年生の児童が、明健小学校に参集し、郡山市内のAETと「3校英語交流学習会」を実施しました。3校混合班「16班」に分かれて、班ごとに体育館や校舎内の各ブースの英語のクイズに答える交流活動を行いました。この目的は、明健中学校区の小学校3校の子どもたちが、入学前に仲良くなることが目的です。英語交流を通して、ふれあうことができた貴重な体験活動となりました。



【校地内交通安全の日】

2012年7月5日朝、郡山市内小学校の校地内で交通死亡事故が起きました。今年で13年経ちます。

この死亡事故は、登校して正門近くにいた2年生が、忘れ物を届けに来た保護者の車にひかれて亡くなった事故です。当時2年生だったあの子が生きていれば、20歳になって成人式を迎えるはずでした。被害者が児童、加害者が同じ学校の保護者でとても悲惨な事故でした。

それ以来、郡山市では、この日を「校地内交通安全の日」としています。本校でも「歩車分離」といって歩行者と車が一緒にならないようにしています。

車で送迎される場合は、安全確認を十分に行い、徐行運転で進入されるようご協力お願いいたします。



「5・6年生 宿泊学習」に行ってきました

本校では、5・6年生が合同で「宿泊学習」と「修学旅行」を隔年で実施しております。今年度は、いわき市海浜自然の家で「宿泊学習」を実施しました。保護者の皆さまのご理解とご協力のおかげで、無事に実施でき、思い出に残る学習となりました。ありがとうございました。

小学生の宿泊学習のねらいは、**集団生活を通して自立心や協調性を育て、自然や地域とのふれあいから豊かな心を育むこと**です。また、日常では得られない体験を通して、学びへの意欲や社会性を高めることも目的としています。体験学習を通して、いわきの自然に親しみ、協力することの大切さを学びました。

